

平成 23 年 2 月 20 日



森づくり集団「^{しほり}栞」事務局通信 Vol.29 号

【今月のお知らせ】【今月の活動報告】【次回の活動予定】【お知らせ/募集】
【編集後記】



第 3 フィールドのサルノコシカケ科の仲間

2011.02.06 撮影

【今月のお知らせ】

平成23年度 総会開催のご案内

日時：平成23年4月23日(土)に例年通り行います。
会員の方はご参加ください。

なお会場・時間・議案内容等は決まり次第メンバーメールにてお知らせいたします。

事務局

【今月の活動報告】

日の出町・森林整備作業

（代償植生の代表種オオムラサキの生息地を保全するための森林整備作業 in 谷戸沢）

1月29日（土）09:00から16:00

参加者 / 武田、土金、緑川、吉田（あ）、小林

個人参加者 / 平川、渡部、豊島 吉田（ひ）

（敬称略）



作業前



作業中



作業後

当日は、「菜」会員を含めて総勢11名の参加者が集まり、整備作業を実施しました。この日は強い風も吹かず、思いのほか暖かい日和となり、作業をしている時は汗ばむほどでした。グループを二つに分けて作業を開始しました。ひとつのグループは、前日の続きで尾根筋のエリアの大径木のコナラなどの伐採と玉切りをしました。もうグループは、散策路周辺の枯損木の伐採やアオキや混み合ったモミの除伐を行ないました。

作業終了は、日没後になりましたが林内も大変明るくなり、尾根上からは西側に広がる草原ゾーンとその先の山並みに沈む夕日を楽しむことができました。作業の合間に休憩をしていると、野鳥の鳴き声が四方から聞こえてきます。今回は、野鳥観察は目的ではないので、その種数などは確認できなかったのが残念でした。

作業後には、近くの「つるつる温泉」に夕食を兼ねて寄りました。ここはアルカリ性単純泉で、疲れた身体にまさに『こころもつるつる』となりました。

今回の企画を提案いただいた吉田さんには感謝申し上げます。次回は、オオムラサキの舞う季節にぜひ来たいと思います。

報告担当小林

ふじみ野市・新河岸川周辺の鳥類調査

新河岸川河畔林周辺

1月30日(日)10:00より13:00

参加者 / 渡部、豊島、吉田ひ、吉田あ、緑川、小林、杉山

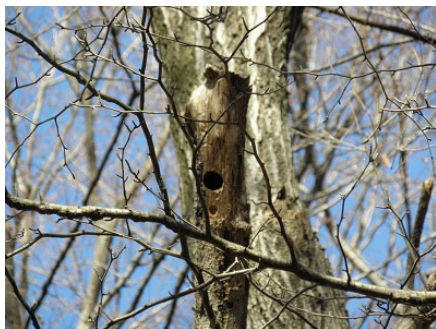
(敬称略)

ふじみ野市役所の橋本さん、文京学院大学の森下さんが行っている新河岸川周辺の野鳥調査に協力参加しました。当日は市の小林さん、同大学の3人の学生さんも同行。フィールドは市役所の北東 600mほどにある新河岸川周辺の緑地。権現山(古墳群のある雑木林)、緑地公園(川沿い細長い河岸段丘の斜面林)、江戸屋の裏(旧回船問屋の裏の草地広場)、御嶽山(社寺林)を順次めぐりました。それぞれ樹林、草原、水辺、上空の環境別にどんな鳥が何羽いるか観察しながら調査しました。

フィールドを周って見て、樹林地の少なさに驚きました。私が住んでいる世田谷の国分寺崖線に比べようもないほどの少なさです(森林面積率はふじみ野市3%、世田谷区10%)。同時にかろうじて残っている樹林や草地、水辺に本来の野生が息づいているのを感じました。ヒドリガモ、マガモの集団は近づくと一定の距離を保って移動し、離れると元の餌場に戻ってきて決して警戒を解きません。都心の不忍池などの人馴れしたカモ類とは大違いです。上空にはオオタカが舞い、一つの生態系が成り立っているのを感じます。そうした中でタシギ、イソシギ、警戒心の強いクイナやバンが川辺のヨシ原に見られました。

無計画な市街地の拡大の結果、まさにぎりぎりのところで成り立っている生態系。鳥類調査を通して森林など緑の大切さを浮かび上がらせ、新河岸川の歴史文化とともに緑地公園を中心とした緑環境の保全に傾けられているお二人の熱き思いが伝わってきました。

今回の調査で確認された緑地公園の野鳥種はツグミ、アオジ、カワラヒワ、カワセミ、キセキレイなど27種(鳥類調査集計結果)。野鳥の生息地として今後保全していくべき環境であることを如実に語っています。



マガモ
ヒドリガモ
ヨシガモ



バン(若鳥?)



タシギ



歴史文化 旧回船問屋

報告担当 杉山 顕一

新河岸川周辺鳥類調査集計結果

日時: 2011年1月30日 10:30 13:00

天候: 晴れ

場所: 緑地公園、権現山、江戸屋裏、御嶽山

参加者: ふじみ野市(橋本、小林)、栞(渡部、豊島、吉田ひ、吉田あ、緑川、小林、杉山)、
文京学院大学(森下、保坂、砂岡、細谷)

1. 環境別出現種

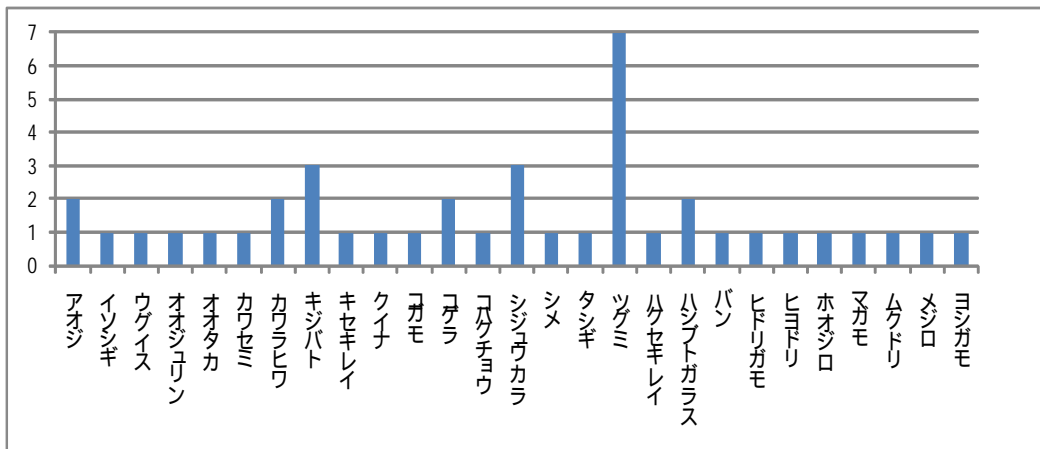
| | 緑地公園 | 権現山 | 江戸屋さんの裏 | 御嶽山 |
|-------|---------|-----------------|---------|------|
| 樹木 | キジバト | キジバト | ヒヨドリ | キジバト |
| | コゲラ | コゲラ | ツグミ | ヒヨドリ |
| | ヒヨドリ | ウグイス | | |
| | ツグミ | シジュウカラ | | |
| | ウグイス | エナガ | | |
| | シジュウカラ | メジロ | | |
| | メジロ | カワラヒワ | | |
| | アオジ | | | |
| | カワラヒワ | | | |
| | シメ | | | |
| | ムクドリ | | | |
| | ハシブトガラス | | | |
| | 上空 | オオタカ ハシブトガラス | ヒヨドリ | |
| 草原 | クイナ | | ドバト | |
| | タシギ | | ホオジロ | |
| | キジバト | | アオジ | |
| | ハクセキレイ | | | |
| | ツグミ | | | |
| | ホオジロ | | | |
| | アオジ | | | |
| | オオジュリン | | | |
| 川 | コハクチョウ | | | |
| | マガモ | | | |
| | コガモ | | | |
| | ヨシガモ | | | |
| | ヒドリガモ | | | |
| | バン | | | |
| | イソシギ | | | |
| | カワセミ | | | |
| キセキレイ | | | | |
| | 27種 | 8種 | 5種 | 2種 |

緑地公園は、調査コースが長く、林、草原、川といった多様な環境を含んでいたため、出現種数が多かったと思われる。1回の踏査で27種確認できる環境は、野鳥の生息地として今後保全していくべき環境であると考えられる。

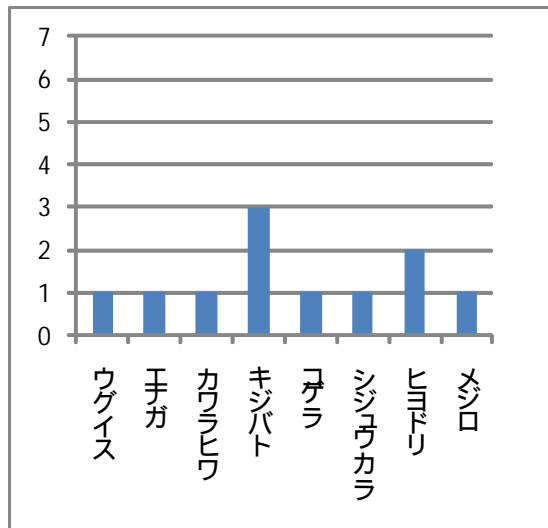
ふじみ野市内の森林面積は3%であり、ふじみ野市内にかろうじて残された森林が緑地公園内にある。この森林は優先的に保全される必要があるだろう。

2. 緑地公園及び権現山出現種の出現頻度

緑地公園



権現山



出現頻度が最も高かったのはツグミであり、シジュウカラ、キジバトがそれに続いた。

森林整備技術研修（チェーンソー講習）

下富第3フィールド

2月6日(日) 10:00より

参加者 / 神座、緑川、吉田(裕)、吉田(敦)、武田、土金、北村(み)、森、吉田

一般参加 / 富沢

(敬称略)

今回は、チェーンソーの技術研修と言う事で、コナラの伐倒・玉切りを体験しました。メンバーによる伐倒の他に経験の少ない方達による伐倒(サポートをしながら)も行いました。

どちらも、立ち木の状況からかかり木覚悟の作業になりましたが、一つ一つ確認しながらの作業でしたので、しっかり学んで頂けたのではないのでしょうか

この他に、チェーンソーを使う上でのポイントは、目立て！これをマスターすると一人前・・・？ チェーンソーにも作業者にも優しくなります・・・。

尚、一番大切な安全についてのお話が抜けてしまいました・・・今回の反省点です。

最後に、私達の活動は、時に危険と隣り合わせの作業もあります。危険を回避するために、基本をしっかりと身につけ、つねに初心に立ち返り、安全確認を励行してください。腕前が上達し、慣れてきた頃のちょっとした油断が大きな事故につながります。大きな事故が起きると楽しくやって来た私達の活動も危うくなるかも知れません。特に、自然相手の活動(作業)は教科書通りに行かない事も多々あります、その事も忘れずに基本動作と安全確認を常に意識してください。



活動担当者 渡部

冬の研修観察会 2月11日(金)～12日(土)

高峰山、草津周辺スノーシュー歩き

参加者 / 緑川、吉田あ、杉山、渡部、土金、
活動担当者 / 豊島、吉田ひ

(敬称略)

11日は三連休初日。ということで川越駅 6:30 出発であったが、関越大渋滞のうえ上信越道山間部から先は道路も積雪のため慎重運転で高峰高原着は 10:30 近く。スキー場レストランで食事のあと 11 時過ぎから高峰山へ。雪の舞う中であつたが、新雪を踏んでの山歩きは気持ちのいいものであつた。途中では、オオカメノキの「パニーガール」の冬芽、葉をたたんで寒さを凌ぐシャクナゲなど、相変わらずの話題満載のウンチク合戦！



1時間余で山頂到着。高峰山は山岳信仰の山。3時ころに高峰高原に帰着し、草津温泉のペンション「五郎次」へ。湯畑に近い中心街のため、近くに無賃外湯が多くあり、みんな三々五々にはしご。夜は、4種類の果実酒当てクイズではしゃいだ。

12日は、9:30 集合、自然公園財団草津支部の森林インストラクター・湯田六男さん(全国会理事)の案内で、「草津むかし道・常布の滝遠望コース」へ。湯田さんの会津弁の混じる名調子の解説で、珍しい樹種(アカカンバ、ウダイカンバ、ミズメ)や熊棚のウンチクなどを研修した。残念ながら新雪のためフィールドサインは、カモシカだけ。



今回のイベントは、さらに盛りだくさん。14:00 に上のイベントが終わった後、南草津の Izaemon さんの里山に移動。

7ヘクタールという山のほんの一部と古民家を見学。Izaemon さんの想いなども聞きながら、さまざまな意見交換。今後どのような交流ができるか、検討をお願いしたい。

その後、草津町営「大滝の湯」に漬かり、食事も済ませて帰郷。高速もスイスイで9時過ぎに無事に到着した。お疲れさま。

活動担当 豊島



最後にお日様が…

【次回の活動予定】

巣箱製作

2月19日(土)～20日(日)

(株)環境総合研究所様からの依頼です。
宿泊で実施しますが、どちらか一日でも可能です。

2月19日 現地集合 AM10:00

場所 栃木県下都賀郡岩舟町大字静223-1

連絡先 090-3219-5792(吉田携帯)

栃木県岩舟町吉田宅

事務局

森林整備技術研修

3月6日(日)

今年も、しいたけほだ木の準備を行います。

下富第3フィールド

活動担当者 武田

【お知らせ/募集】

参加者募集のお知らせ

森づくり集団「^{しほり}菜」は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山及び三芳町で里山の手入れをおこなっています。
会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。
私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。
また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などの企画計画していますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

【編集後記】

以前NHKの自然百景で「ヒヨドリ」の渡りを見ました。
「ヒヨドリ」は夏は山地、冬は都会にやってくる鳥だったようです。
今では一年中どこにでもいます。以前我が家の「あせび」の木に巣を作り3羽が巣立ちました。
「カラス」と同様興味を持って観察するほどではありません。でも北国から漂行して来る群れもありその群れはとても結束が固く小さい餌台にひしめきあうこともあるそうです。
海峡を渡っていくグル プの、ハヤブサの難をさけて海面すれすれに密集して飛んでいく姿はいつもの「ヒヨドリ」ではなくまさに野生の逞しさを感じました。
住宅に安住してしまった「ヒヨドリ」はキャベツ畑等を荒らすということで鳥害対策の研究対象にもなっているそうです。(森の野鳥観察図鑑 ピッキオ参照)

緑川

植物の芽

冬芽 2 とうが

越冬芽ともいう。

冬に一時的に成長を止めた状態で冬を越す芽のこと。

(冬芽のいろいろ 2)

- ・ 隠芽(いんが) ……1年生枝の内側に隠れている冬芽のこと。
外出したものより寒害や物理的加害に耐える。
- ・ 潜伏芽(せんぷくが) ……隠芽と違い春になっても開葉しないで木質部内に埋まったもの。
成長部分に幹、枝折れなどの異常が起こればこの潜伏芽が成長する。これを**萌芽枝**という。
- ・ 不定芽(ふていが) ……根にできる芽のこと。これが発達すれば**根萌芽幹**(ねぼうがかん)となる。

ナラ類は、この潜伏芽や不定芽の成長能力が高いため萌芽による更新が行われます。

あ

森づくり集団「^{しほり}菜」事務局

アドレス info@mori-shiori.sakura.ne.jp

ホームページ <http://mori-shiori.sakura.ne.jp/>

事務局長 緑川睦子